



出発するバスの前でのテープカット

牧之原から渋谷へイッテミテGO!

■高速バス「相良渋谷線(渋谷ライナー)」運行開始

しずてつジャストライン株式会社と株式会社東急トランセが共同運行する、牧之原市と東京都渋谷区を結ぶ高速バス「相良渋谷線(渋谷ライナー)」が12月16日、運行を開始しました。

バスは毎日4往復し、所要時間は4時間から4時間30分です。停留場所や運行ダイヤ、運賃、利用方法(事前予約制)などについては、市ホームページをご覧ください。



市ホームページ (<http://www.city.makinohara.shizuoka.jp/bg/news/ent/8978.html>)

交通安全よろしくね

■年末の交通安全パレード

年末の交通安全県民運動が始まった12月15日、市役所榛原庁舎周辺の幹線道路で、交通安全パレードが行われました。

パレードには川崎幼稚園、牧之原警察署、交通安全協会牧之原地区支部、交通指導員会、静波区交通安全会の皆さんなど約150人が参加しました。

参加者は、園児たちの太鼓隊を先頭に、のぼり旗や横断幕を掲げながら、約1キロメートルを太鼓隊の奏でる軽快なリズムに合わせて行進し、地域の皆さんに「交通安全」を呼び掛けました。



交通安全パレードで行進する川崎幼稚園の太鼓隊

見事! 静岡県知事賞を受賞

■第50回中学生の「税についての作文」コンクール

相良中学校3年生の遠藤圭人さんが、第50回中学生の「税についての作文」コンクールで静岡県知事賞を受賞しました。

このコンクールは静岡県納税貯蓄組合連合会が、中学生に税について正しく理解してもらうことを目的に行われており、静岡県下から1万5,000件以上の応募がありました。

遠藤さんは「夏休みの課題として取り組んだ作文が、このように評価されて大変光栄です」と受賞の喜びを話しました。



県知事賞を受賞した遠藤さん(写真右)



静岡牧之原茶親善大使に任命された橋幸夫さん

お茶の魅力を歌声にのせて

■橋幸夫さんを「静岡牧之原茶親善大使」に任命

市(茶業振興協議会)は12月19日、歌手の橋幸夫さんを「静岡牧之原茶親善大使」に任命しました。

橋さんの新曲「ちゃっきり茶太郎」の歌詞に「牧之原」が登場するという縁もあり、茶太郎の故郷である牧之原台地周辺5市(牧之原市、御前崎市、掛川市、菊川市、島田市)から、牧之原台地のお茶をPRする「お茶親善大使」に任命されました。

橋さんは「東京五輪に向けて日本のお茶を世界に発信していきたい。牧之原台地のお茶をPRします」と意欲を燃やしていました。



自衛隊が炊き出したご飯を受け取る参加者

情報伝達を再確認し連携強化

■地域防災訓練

大規模地震が発生し、建物の倒壊や大津波の襲来などを想定した地域防災訓練が12月4日、市内各地で自主防災組織を中心に実施され、約17,400人が参加しました。

小堤山公園(波津区)では、自衛隊車両の展示や隊員による炊出訓練が行われました。炊き上がった白米は、手際よく各自主防災組織へと手渡されていきました。

相良総合グラウンドでは、消防署員や自衛隊、医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、災害ボランティアコーディネーターなどが参加し、傷病者搬送など本番さながらの訓練が行われました。また、片浜区と須々木区では、完成したばかりの津波避難地・避難路で訓練を行いました。

土に触れ、地元の特産品を収穫

■自然薯収穫

萩間小学校では12月8日、3年生18人が参加し校内の農園で自然薯の収穫を行いました。

自然薯は、児童らが5月に種芋を植え付け、草取りや水掛けをして大切に育ててきたものです。

児童らは自然薯ファミリー(萩間自然薯研究会)のメンバーから指導を受けながら、自然薯を傷つけないよう一本一本丁寧に掘り起こしました。

収穫を体験した児童は「自分たちで育てた自然薯が大きく育っているのか、ドキドキしながら収穫しました」と話しました。



大小さまざまな自然薯を収穫した児童



鈴木梅太郎博士像の前で受賞を喜ぶ作文コンクール受賞者

未来の梅太郎博士を目指して

■梅っ子ビタミンフェスタin地頭方

12月13日のビタミンの日を前に、ビタミンB1を世界で最初に発見した鈴木梅太郎博士を顕彰する「第8回梅っ子ビタミンフェスタ」が12月3日、地頭方小学校で開かれました。

フェスタでは、児童らによる博士の知名度や和食文化などの研究結果が発表されました。また、ビタミンI(愛)作文コンクールでは、465作品から優秀作品に選ばれた18人が表彰されました。

この他、博士の資料やビタミンスクール作品の展示もあり、会場は地域住民らでにぎわいました。



広報担当がどこにでも取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。

秘書広報課 ☎0052 ✉seisaku@city.makinohara.shizuoka.jp